

交通局事業概要

【環境委員会資料】

平成28年4月14日
川崎市交通局

交通局理事者一覧表

平成28年4月1日 現在

役 職 名	職 名	氏 名	内線電話等
川崎市交通事業管理者 交通局長	事務職員	いいずか さとし 飯 塚 哲	47000
企画管理部長	事務職員	ひらの まこと 平 野 誠	47100
企画管理部 庶務課長	事務職員	きたむら けんじ 北 村 憲 司	47101
企画管理部 経営企画課長	事務職員	わたなべ みつとし 渡 邊 光 俊	47201
企画管理部 経理課長	事務職員	ながまつ ゆういち 永 松 祐 一	47301
企画管理部 担当課長（労務担当）	事務職員	しぶや じゅんいち 澁 谷 淳 一	47102
自動車部長	事務職員	いちのへ ひろゆき 一 戸 洋 之	47400
自動車部 管理課長	事務職員	ほうじょう やすひろ 北 條 泰 広	47401
自動車部 管理課担当課長（営業所建替整備担当）	技術職員	たかがわ さやか 高 川 清	47415
自動車部 運輸課長	事務職員	さかい みつお 酒 井 光 雄	47501
自動車部 安全・サービス課長	事務職員	みずたに しんいち 水 谷 晋 一	47801
自動車部担当部長 塩浜営業所長事務取扱	事務職員	かめだ としお 亀 田 俊 夫	(288) 0972
自動車部 井田営業所長	事務職員	しが まさなり 志 賀 正 也	(777) 6888
自動車部担当部長 鷺ヶ峰営業所長事務取扱	事務職員	よしみ いちろう 吉 見 一 郎	(977) 5222

交通局事業概要

平成28年4月14日

川崎市交通局



目 次

1	組織及び職員数	2
2	交通事業のあらまし	3
3	営業所の概要	4
4	市内のバス路線の状況	5
5	運輸実績	6
6	路線別の収支状況	7
7	平成28年度予算の概要	8
8	主な事業	9

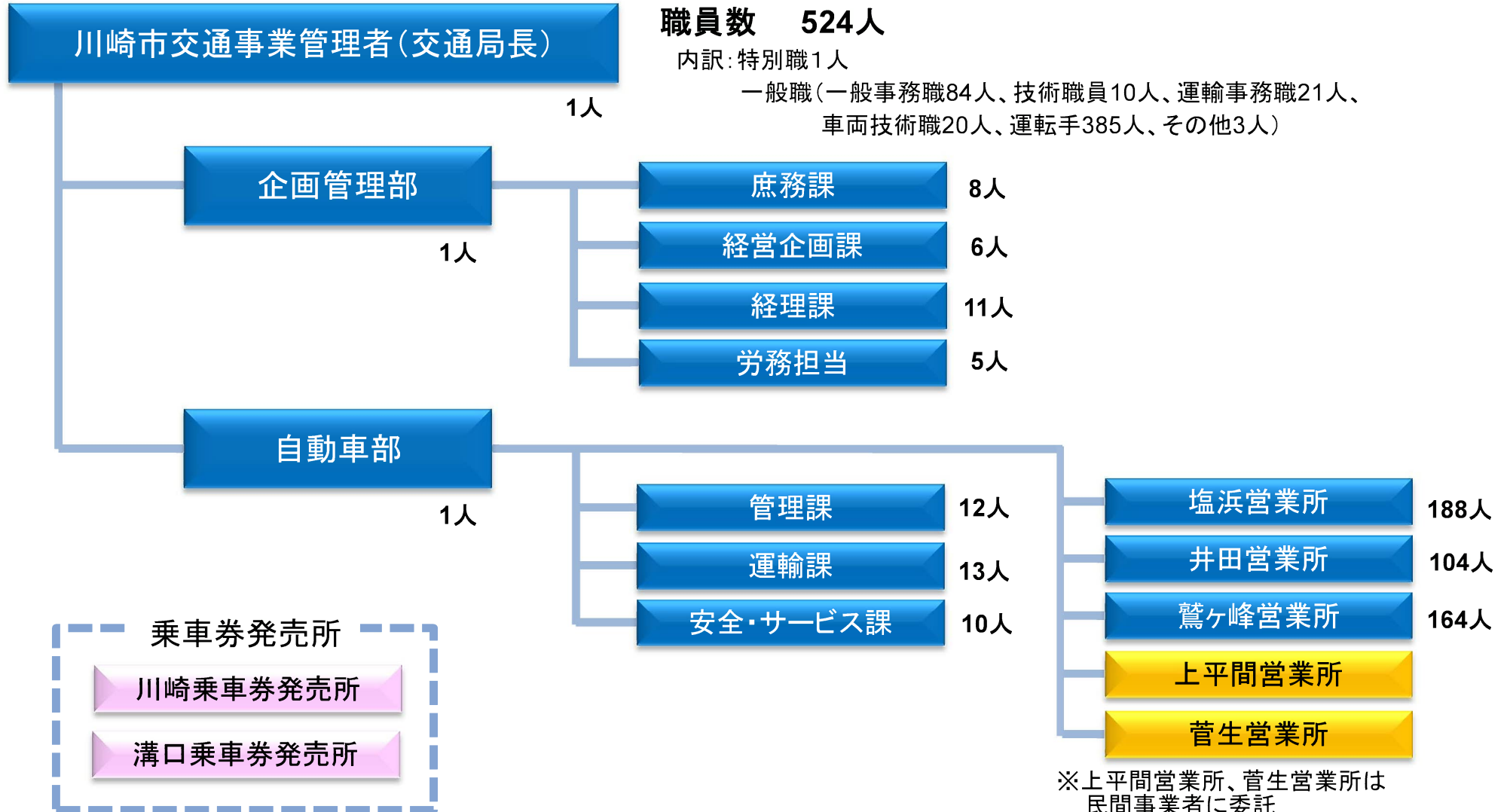
【参考資料】

- 1 平成27年版 事業概要
- 2 2015年7月版 「市バスマップ」 (暫定改訂版)



1 組織及び職員数

(平成28年4月1日現在)





2 交通事業のあらまし

(平成28年4月1日現在)

【市バス運行開始日】

昭和25年12月15日

【運行区域】

川崎市全域(一部横浜市域乗入)

【普通乗車料金(市内均一)】

現金 : 大人210円 小児110円

IC : 大人206円 小児103円

(川崎病院線のみ大人・小児とも100円)

【車両数】

340両(乗合335両、貸切5両)

【営業路線及び系統数】

28路線、201系統(停留所数494箇所)

【路線免許キロ】

193.85km(市内191.90km、横浜市内1.95km)



3 営業所の概要



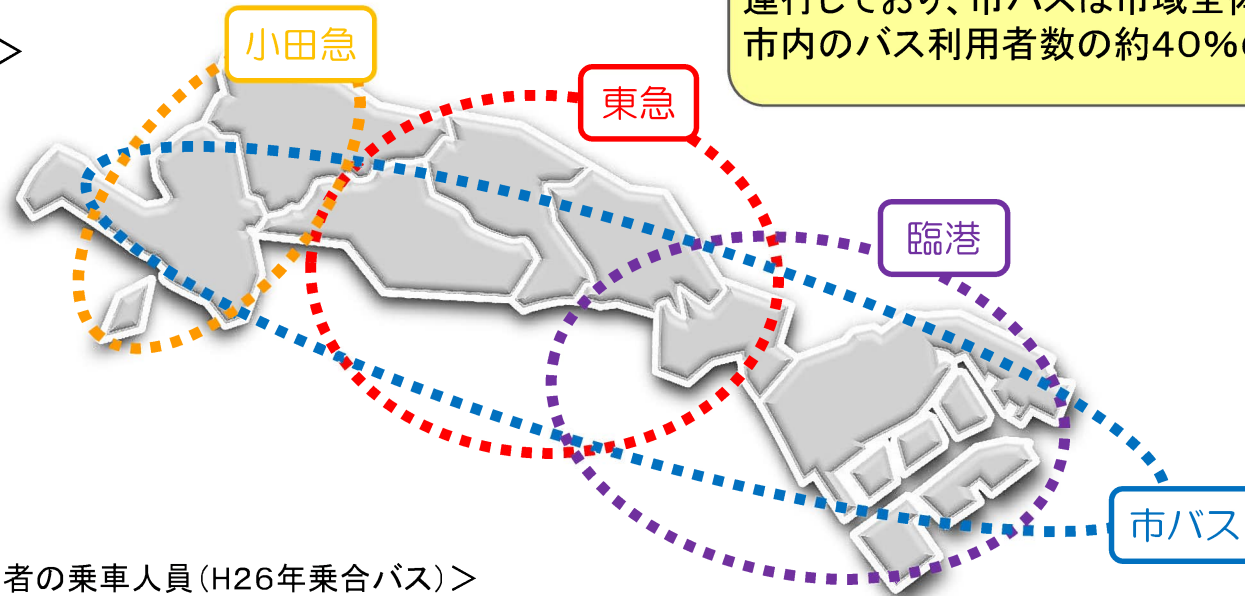
	塩浜営業所	井田営業所	鷲ヶ峰営業所	上平間営業所	菅生営業所	計
所在地	川崎区塩浜2-2-1	高津区明津98	宮前区菅生ヶ丘41-1	中原区上平間1140	宮前区犬蔵3-5-1	
営業開始	昭和37.8.7	昭和41.8.1	昭和47.4.24	昭和28.7.22	平成23.4.1	
車両数(両)	106 (貸切1両含む)	51 (貸切2両含む)	83 (貸切2両含む)	70	30	340 (貸切5両含む)

※車両数は平成28年4月1日時点



4 市内の路線バスの状況

<営業エリアイメージ>



市内の路線バスは、市バスと主に民間3事業者が運行しており、市バスは市域全体を営業エリアとして、市内のバス利用者数の約40%のシェアを有している。

<市内バス事業者の乗車人員(H26年乗合バス)>

事業者	乗車人員(人)	シェア
市バス	48,118,950	39.8%
臨港バス	32,219,071	26.6%
東急バス	26,119,640	21.6%
小田急バス	14,479,504	12.0%
合計	120,937,165	100.0%

(資料)『川崎市統計書』から作成

※市バスは年度(4月~3月)、民間バスは年間(1月~12月)



5 運輸実績(平成26年度)

乗合バス事業

区分	数量	1日当たり
期末営業キロ	195.14km	—
停留所数	498箇所	—
運行系統数	201系統	—
営業路線数	29路線	—
営業日数	365日	—
期末在籍車両数	338両	—
延実働車両数	107,561両	295両
実車走行キロ	13,171,362km	36,086km
乗車人員	48,118,950人	131,833人
乗車料収入 (税抜)	7,639,747,541円	20,930,815円

貸切バス事業

区分	数量	1日当たり
営業日数	365日	—
期末在籍車両数	5両	—
延実働車両数	629両	2両
実車走行キロ	31,156km	85km
乗車人員	256,372人	702人
乗車料収入 (税抜)	29,496,850円	80,813円

※運行系統数には臨時系統の11系統を含む



6 路線別の収支状況

※営業係数とは

100円の収益をあげるのに必要な費用を示す指数で、100未満であれば黒字、100を超えると赤字であることを示す。

[平成26年度決算]

営業係数	路線数	構成比
100未満(黒字)	7路線	24.1%
100超(赤字)	22路線	75.9%
100～150	16路線	55.2%
151～200	5路線	17.2%
201以上	1路線	3.5%
計	29路線	100.0%

- 営業係数=(営業費用÷営業収益)×100
- 営業費用は、人件費、経費、減価償却費等
- 営業収益は、乗車料収入、広告料収入等



7 平成28年度予算の概要

(単位 千円)

区 分		28年度 予算額	27年度 予算額	増 減	
				増減額	増減率 (%)
収益的収支	収 入	10,049,056	9,957,840	91,216	0.92
	支 出	9,958,926	10,171,355	△ 212,429	△ 2.09
	純損益(税抜き)	49,139	△ 223,604	272,743	
資本的収支	収 入	527,923	91,049	436,874	著増
	支 出	955,623	734,459	221,164	30.11
当年度末累積資金過不足額		4,133	△ 531,591	535,724	



8 主な事業

(1) 運輸安全マネジメントの推進

[交通安全の啓発]

・交通安全教室の開催

警察、学校等の関係機関と連携した交通安全教室の開催



・自転車駐輪場への注意看板の設置

主要駅周辺の自転車駐輪場に自転車利用者のマナー向上を呼び掛ける注意看板を設置



[車いす利用者の利便性向上]

・巻き取り式車いす固定ベルトの整備

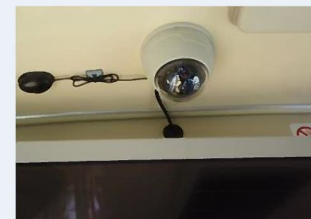
従来のバックル式に替わり、巻き取り式の固定ベルトを全車両に整備



[ドライブレコーダーの更新]

・更なる活用に向けた更新

全車両に車内中扉から後方確認用カメラの1基増設（5カメラ化）





8 主な事業

(2) 市バスネットワークの推進

・病院へのアクセス向上

「小杉駅東口」から「井田病院」・「労災病院」へのアクセス向上 (H28. 4~)

- 「小杉駅東口」から「労災病院」を経由して「井田病院」に至る系統を拡充
- 「小杉駅東口」から「労災病院」を経由して「蟹ヶ谷」に至る系統を新設
- 井田病院乗継便(「井田病院」⇄「井田営業所」)の増便
- 「小杉駅入口グランツリー前」停留所の新設



・たまプラーザ駅への接続

「向ヶ丘遊園駅」と「たまプラーザ駅」を接続する系統を新設

- バス利用者の需要等を把握するため社会実験実施 (H28. 8~)
- 東急バスとの共同運行
- 買い物による利用者を対象としているため日中時間帯に運行





8 主な事業

(3) バス待ち空間の充実

・ 停留所施設の計画的整備

- 施設の一体型整備による、バス停の簡素化及び景観の向上
- 照明付標識のLED化による、電力コストの削減
- 国の指針に沿ったベンチの固定化による安全性の向上
- バス停留所ガイドラインの策定

・ 停留所運行情報表示器の増設

30箇所→43箇所(13箇所増設)

時刻表	系統番号	行先・経由	発車予定
07:47	宮05	宮前平駅行	約10分で到着します。
07:51	生02	生田駅行	約14分で到着します。
07:59	溝18	溝口駅南口行	

タブレット型運行情報表示器
(画面)



上屋
(一体型)



照明付標識
(LED化)



停留所ベンチ
(固定化)



バス停留所
ガイドライン





8 主な事業

(4) 事業基盤の強化に向けた取組の推進

・ 人員確保に向けた取組

- 優秀な公募嘱託運転手について、正規採用選考時の実技試験を免除
(首都圏大都市事業者において初)
- 短時間(週20時間)勤務の職を設置
- 応募者の希望日時・配属希望営業所での公募嘱託運転手採用選考を実施



新規採用職員発令式

・ 上平間営業所の計画的整備

築50年を経過し、老朽化の著しい上平間営業所について、建替えによる計画的整備を実施

<今後のスケジュール>

- 平成28年度 実施設計
工事着手
- 平成30年度 竣工
- 平成31年度 供用開始



整備後の上平間営業所
(イメージ図)

(5) 経営力の強化に向けた取組の推進

・ 委託営業所の変更

委託車両数の拡大及び北部地域の新たな輸送需要へ迅速に対応するため、委託営業所を変更(H29年度実施)

- 井田営業所 : 直営→委託(神奈川中央交通(株)を予定)
- 菅生営業所 : 委託→直営
- 上平間営業所 : 第3期管理委託実施(川崎鶴見臨港バス(株)を予定)

<効果>

- 財政効果額 最大2.2億円(見込)



8 主な事業

(6) 地域や利用者に親しまれる取組の推進

[ノルフィンとハローキティのコラボレーション]

・コラボデザインの活用

- ラッピングバスの運行
(市内全域10両体制で運行)
- 運転手等職員のピンバッジの着用
- 家族1日乗車券へのデザインの採用
- コラボ記念限定グッズの販売・配布
(クリアファイル・ハンドタオル・缶バッジ等の販売、シールの配布)



家族1日乗車券



ピンバッジデザイン

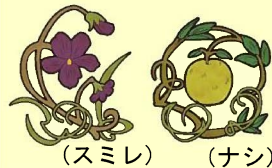


「音楽のまち」をテーマにしたラッピングバス

[ギャラリーバスの充実]

・掲出内容及び運行台数の充実

- 川崎市内の小学校児童の絵画作品掲出
14両(7区×2両)
- 区役所が主催する絵画コンクール事業との連携 3両
- 平成28年4月12日(火)から運行



(スマイレ) (ナシ)

「区の花」「区の木」をデザインしたステッカー



小学校の絵画を展示中
学校名を車外に表示



車内の作品展示イメージ



ギャラリーバスのラッピングデザインを一新

[藤子・F・不二雄ミュージアム線の取組]

・専用バス車両のリニューアル

- バス車両(4両)をフルリニューアル
- バス車両の大型化
(中型2両、小型2両
→大型1両、中型3両)

・グッズの販売等

- トミカの販売
※市バス初のトミカ作製
- 缶バッジの配布



トミカイメージ